

認知症検査のご紹介

オプション検査です

単独では受けられません

～「早期診断」「早期治療開始」はご自身の為にも、大切なご家族にも大事な事です～
当健診センターではVSRADと神経心理学的検査を組み合わせることで認知症罹患の有無を判定します

VSRAD(ブイエスラド)

+

MMSE(ミニメンタルステート検査)

MRI/MRA検査 (追加撮影5分)

神経心理学的検査(所要時間15分)



コンピューター解析にて、記憶をつかさどる部位
(海馬傍回【かいばぼうかい】付近)の萎縮を確認します

日本は世界に誇れる長寿国となり、平均寿命は男性81歳、女性87歳と言われ
100歳以上の高齢者は8万人を超えました(2020年9月時点)。

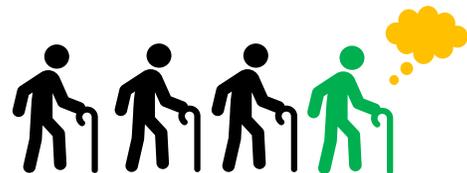
世界保健機構(WHO)では65歳以上を高齢者と定義していますが

現在日本で認知症患者及び認知症前段階患者は

60歳代の5人に1人と言われており



80歳を超えると4人に1人がこの問題を抱えています。



オプション料金：オープン記念 ¥5,500 (正規料金 ¥6,600)

認知症とは？

「認知機能」や「行動能力」が日常の生活活動を妨げる程度にまで失われる状態を認知症と指します。
高齢、ストレス、不安神経症、うつ病に強く関連すると言われています。



「認知機能」

思考力：考える能力

記憶力：ものごとを忘れずに覚えておくための力

論理的推理力：
物事をしっかりと筋道を立てて考えることのできる力

「行動能力」

自分で考えて行動する力



日常の生活活動を妨げる程度にまで失われる状態

- 「しょっちゅう」同じことを言う
- 「しょっちゅう」同じことを聞く
- 「いつも」探し物をしている
- ヒントがあっても人の名前が思い出せない
- 食べたこと自体を覚えていない
- 「たまに」同じことを言う
- 「たまに」同じことを聞く
- 「ときどき」探し物をする
- 人の名前がすぐ出てこない
- 食べた物を思い出せない

どちらに近い？

認知症の原因



認知症患者さんの半分以上はアルツハイマー病及びLewy (レビー)小体型認知症である事が判明しています。

健康な脳



認知症が進行した脳

アルツハイマー病は遺伝、環境および生活習慣などの複数の因子が絡み合っていると考えられます。

脳の組織では
アミロイド β 蛋白重合蓄積：老人斑
タウ蛋白リン酸化重合蓄積：神経原線維変化
脳神経細胞間の不連結 などが起こります。





認知症とは「老い・老化現象」とは全く別のものです

《特徴》
検査音低減
短時間で高画質
FBIによる非造影

1.5TMRI「EXCELART Vantage F2-Edition」
東芝メディカルシステムズ株式会社

VSRAD(ブイエスラド)

MRI/MRA検査

VSRADによるアルツハイマー病及びLewy (レビー)小体型認知症の正診率は、90%を超え検査精度の高い認知症検査です。

VSRAD検査も通常の脳ドック検査MRI+MRA1.5T(20分)に5分程の検査時間追加で終了します。

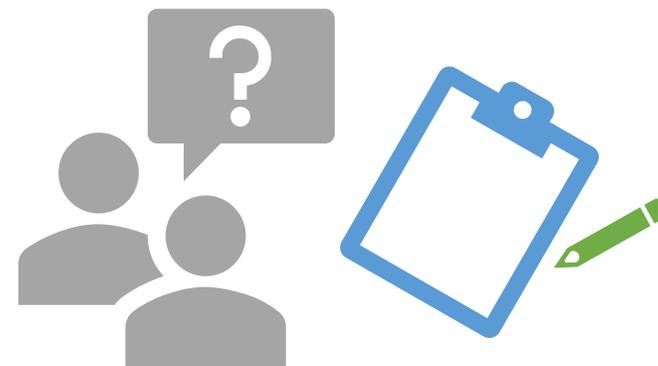
MMSE(ミニメンタルステート検査)

神経心理学的検査

神経心理学的検査はミニメンタルステート検査と呼ばれ30満点の11の質問に答えていただきます。

見当識、記憶力、計算力、言語的能力、図形的能力などから構成され、24点以上で正常と判断されます。

神経心理学的検査の所要時間は15分です。



VSRAD(ブイエスラド) + MMSE(ミニメンタルステート検査) で
心配の解消と「早期診断」「早期治療開始」を！

ご家族様からのお申し込みも承りますが、ご本人様がこの検査を理解し、承諾していることを条件とさせていただきます

ご予約・お問い合わせは 0120-713-183 医療法人社団 葵会 柏たなか病院 予防医学センター